2026年度　第15回新潟県クラブユースサッカー (U-13)大会
大 会 規 定

1 競技方法

(1) 予選リーグを行いその結果に基づき順位トーナメントを行う。

(2) ルールは(公財)日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2025/2026」による。

(3) 試合時間は、予選リーグ50分(ハーフタイムは5分)で実施する。決勝・順位トーナメントは60分（ハーフタイム７分）で実施し、競技時間内に勝敗が決まらない場合は、PK戦方式により勝敗を決する。

(4) 予選リーグは、参加希望チームを8グループに分け順位を決定し、上位2チームを決勝トーナメントに進出させる。3・4・5位については、順位トーナメントかリーグ戦にて順位戦を行う。

(5) 予選リーグの順位決定は次の通りとする。

① 勝点は、勝ち＝3点、引き分け＝1点、負け＝0点、不戦敗のあるチームは上位進出はできない。

② 勝点が同じ場合は、当該チームの成績を優先する。

③ 当該チームの対戦結果が引き分けの場合は得失点差の多い方を上位とする。

④ 得失点差が同じ場合は、得点の多い方を上位とする。

⑤ フェアープレーポイントの多い方を上位とする。（警告-１，退場-３）

⑥ ⑤でも同じ場合は、抽選で順位を決定する。

(6) 順位トーナメントは、各順位グループに於いて順位を決定する。

2 警告・退場

(1) 大会の期間中警告の累積が2回になった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。

(2) 予選リーグにおける警告処分は、順位トーナメントに持ち越さないこととする。ただし、予選リーグにおける出場停止処分が未消化の場合（累積警告を含む）は、順位決定トーナメントの第一試合に持ち越され適用される。

(3) 退場を命じられた選手は、本大会中の次の1試合に出場できない。その後の措置については、大会実施委員会にて決定する。

(4) 出場停止処分については、本大会中のみの適用とする。

(5) ベンチ入りスタッフが退場等によりいなくなった場合、その時点で没収試合とする。スコアは（0-3）※ただし、３点差以上離れている場合は、この限りではない。

3 チームスタッフ及び選手の登録

(1) 選手登録の上限はもうけない。監督を含むスタッフ10名以内とする。ただし、試合毎にベンチ入りできる選手は25名以内、監督を含むスタッフは5名以内とする。なお、事前に登録していない者はベンチ入りできない。

(2) 帯同審判員（4級以上）を2名以上登録すること。

4 代表者会議

基本行わない

(1) メンバー表の提出は、第一試合については30分前に本部へ2部提出すること。第二試合以降は、前の試合のハーフタイム時に、先発出場選手は記入欄に〇印を、控え選手は記入欄に△印を記入のこと。

(2) 当日の当該チームにおいて、試合開始１時間前にユニフォームの決定をしておくこと。

(3) 「クラブ申請」により４種(小学生)、女子登録の選手を出場させるチームは、当該選手の選手番号を確認できるものを持参し、大会実施委員会からの要請があった場合は提示すること。

5 選手交代　(1) 当日ベンチ入りした14名までとし、再出場は認めない。また、**試合を通しての交代回数は3回**までとする。但しハーフタイムは含めない

(2) 交代用紙を使用する。

(3) 各試合のメンバー表提出後、試合開始前までの時間に怪我などの特別な理由により、その試合に登録された選手が出場出来ないと当該会場本部役員が判断した場合に限り、下記の通りメンバーの変更を認める。

① 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たに控え選手を登録済みの選手の中から補充することが出来る。ただし、出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。

② 控え選手の場合は、登録済み選手の中から控え選手として新たに補充することが出来る。この場合も怪我等で出場出来ない当該選手がベンチに留まりたい場合は、当該試合に出場しないことを条件にベンチにとどめることが出来るが、この場合は控え選手の補充は出来ない。

③ 選手の補充を行った場合、怪我等で出場出来ない当該選手はベンチ内へ入ることは出来ない。

④ この選手の補充については、選手の交代にはあたらない。

⑤ この措置は、本大会のみの適応とする。

(4) ※【脳震盪】

原則：１試合において各チームは最大１人の「脳振盪による交代」ができる。たとえ、味方同士の間で頭部の接触があり、2人に脳振盪もしくはその疑いがあると判断されても、「脳振盪による交代」は「１人のみ」に適用される。

交代の回数：チームが「脳振盪の交代」を行った場合、相手チームは１人の「追加の交代要員」を使うことができ、１回の「追加の交代」の機会を得る。この追加の交代回数は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。

・相手チームの「脳振盪による交代」の使用により、「１人の追加の交代要員」とともに得られた「１回の追加の交代回数」は、「１人の追加の交代要員」のためにのみに使うことができる。

・たとえ、まだ使っていない交代要員（通常の交代要員）を残していたとしても、得られた「１回の追加の交代」の機会として、これらの交代要員を「1人の追加の交代要員」と同時に交代させることはできない。

・脳震盪での交代は回数にカウントされない。ただし、通常交代と同時に行う場合はカウントされる。また、交代要員「が残っている場合は交代要員から脳震盪の選手と交代をする。ただし、交代要員を全て使った場合のみ再出場を認める。

6 メンバーチェックと用具チェック

出場選手は試合開始５分前に本部にて全員選手チェックを受けること。用具チェックについては、試合開始前に審判員から全員チェックを受けること。

7 ユニフォーム

(1) ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定を遵守すること。

※日本サッカー協会ユニフォーム規定第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

(2) ユニフォームの下に着用するアンダーウェアーについての色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のもの着用する。また、スパッツ及びアンクルパットについても原則としてチーム内で同色のものを着用する。（JFA推奨一部）

(3) 正・ 副の色の異なるユニフォーム(GKも含む)を用意すること。通常審判員が着用する審判着（黒色等）に類似しているユニフォームは認めない。
また、ユニホームについては、メーカーによるデザイン等の変更あり統一出来ない場合は、主たる色が同色である事を原則とし、ラインの色、メーカーの位置、背番号等の色の違う場合に限り可能とする。但し、この適応は今大会のみとする。

(4) ユニフォームの前面及び背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GKも含む）。

(5) 合同チームについては、出来るだけ統一したユニホームを用意する事。ただし、ユニホームが揃わない場合は、ビブスを着用して試合に出場出来る。エントリー表提出時にはビブスの番号を記載する事。試合毎にビブスの番号変更は認めない。

(6) 日本サッカー協会から示された「ユニフォーム規定」の運用緩和に関しては、以下の点を認める。

・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっていても、主たる色やデザインが同様と主審が判断すれば着用することができる。

・ユニフォームの下に着用するアンダーシャツ、ショーツおよびタイツ色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。（一部未着用の者が含まれる場合も可とする）

・ソックスは足首部分で切れたもので、足首から下は別のものを着用する形式のものを着用できる。※カットソックスを着用する場合は、同色とする。

8 組合せ　大会実行委員会において組合せ決定し（2026年度北信越U13L及び新潟県U13L大会の結果を参考）日程と共に各チームに連絡する。

9 試合球　試合球は本部にて用意する。

10 会場設営　(1) 各会場の設営は、第1試合の2チームで行う。

(2) 各会場の撤収は、最終試合の2チームで行う。

11 その他

(1) チームベンチは、会場本部からグラウンドに向かって左側ベンチをリーグ表の上にあるチーム及びトーナメント表の左側のチームとし、対戦相手は右側ベンチとする。

(2) **本大会において、選手証のチェックを行う。**

(3) エントリー選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入しておくこと。

(4) 本大会での不慮の事故については応急処置を行うが、その怪我についての責任は一切負わないものとする。その後の処置は各チームで責任を持つこと。

（5）天候の事情により試合が日程通り消化できない状況が発生した場合は、大会実施委員会に一任する。

(3) 大会期間中において、不慮の事故等が生じた場合は、各チームにおいて対応すること。

(4) 本大会において、要項・規定以外の予期せぬ事象に対しては、大会実行委員で最終判断をしますが、早急な判断が必要な場合は、参加各チームの良識ある対応をお願いします。その場合、必ず実施委員会に顛末の報告をお願いします。

(5) 天候等の事情により試合が日程通り消化出来ない状況が発生した場合は、大会実施委員会に一任する。

(6) 反スポーツ的（特に暴言・暴力・差別発言等）と判断される行為は相手チームのみならず自チーム間であっても厳に慎み、サッカーの品位を高めるよう努力を図ること。

(7) 試合中の選手や観客を含め会場による緊急事態（救急搬送等）の対応は本部役員で行うが、それ以降の処置は各チームで責任を持って対応を行って下さい。

(8) 本要項及び注意事項に記載の無い事項については（公財）日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2025/2026」による。

(9) 選手のソックスとすね当ての装着に関して

育成年代・成長期の選手であり、ケガ予防の観点から、明らかにソックスが下がっている状態での試合出場は不可とし、膝下までほぼ全てが覆われている状況となるようチームスタッフが指導するようにお願いします。

【大会実施委員長】
新潟県クラブユースサッカー連盟 代表理事　浅見達也（090-4069-1799）
Mail：nicy.asami@gmail.com